



信頼できる変革

Pega Blueprintでデータ、プライバシー、AIを安全に管理する方法をご紹介します。

● Pega Blueprint™のセキュリティとプライバシー

Dashboard Pega GenAI + Blueprint™

RETAIL BANKING - BP-206181

Retail Loan Origination

Select the Case Type to define the workflow details: ☐ Secured Retail Loan Application

Case Lifecycle Case Data Model

This case type defines a secured Retail Loan application process, from submission, approval, and disbursement, ensuring efficient communication with applicants. This case type represents the process of handling and approving a secured retail lending products like vehicle loans.

Primary Steps

Capture Applicant Inf...	Eligibility and Evalua...	Additional Document...	Loan Amount and Te...	Loan Agreement and ...
- Collect Applicant Information - Collect Financial Information - Collect Collateral Information + Add Step	- Eligibility Check - Credit Check - Validate Financial Documentation - Check Collateral Type - Validate Guarantor's Financial Data - Retrieve Guarantor's Credit Score - Check Guarantor's Eligibility - Offer Risk Reducing Product to Client + Add Step	- Additional Documentation Check - Collect Additional Documentation - Collect Collateral - Validate Collateral - Valuation of Collateral - Approve/Reject Loan + Add Step	- Loan Amount Check - Loan Terms Calculation - Loan Terms Approval + Add Step	- Prepare Loan Agreement - Review and Sign Agreement - Approve Loan Disbursement - Update Loan Account Information - Update Collateral Systems - Loan Disbursement - Notify Applicant for Loan Disbursement + Add Step

Save & Close Next

Pega Blueprint™ セキュリティとプライバシーの 概要

Pega Blueprint™は、お客様のプライバシーとセキュリティを優先事項として構築しました。私たちは、お客様のプロセスは単なる図やワークフローではなく、競合優位性につながるものであると考えています。



アクセスは企業側で管理

Blueprintへのアクセスは、企業のシングルサインオンと連携できます。

- Blueprintは、ロールベースのアクセス制御によってデータアクセスを管理します。この仕組みは、積極的に共有されない限り、作成されたBlueprintが作成者だけのものとして維持されるよう設計されています。
- ユーザーが企業を退職した場合、組織のSSOプロバイダーでそのユーザーのステータスやロールが更新された時点で、そのユーザーは組織のBlueprintにアクセスできなくなります。

企業のBlueprintとAI学習を分離

プロンプト、データ、設計がAIモデルの学習に使用されることはありません。

- Blueprintは、AWS上のAnthropicモデル、Google Gemini、MS Azure上のOpenAIなど、最先端のLLMを内部で活用しています。
- すべてのLLMは、継続的に管理され、パフォーマンステストが行われ、コンテンツフィルタリングに関するプロバイダーのベストプラクティスが活用されています。

データの秘密性を保持

Blueprintの詳細は、暗号化されたクラウドデータベースに保存されます。

- 米国、英国、APAC、EUなど、各企業に最適な地域のクラウド上に展開されます。
- Pegaのクライアントやパートナー間においてデータを共有しません。
- Blueprintは、積極的に共有しない限り、作成者の非公開情報に留まります。
- 権限のあるユーザーがPega内で活用する活動レベルのレポートデータのみ（メールアドレス、作成日時、作成者名）を保存します。

エンタープライズグレードのクラウドセキュリティ

Blueprintのデータは、次のとおり、本番環境のPega Cloudと同じように強固に保護されます。

- 保存データには、256ビットAES暗号化を、転送データにはHTTPS/TLS保護を適用します。
- ホストベースのウイルス対策および侵入防止システムにより、継続的なモニタリングを行います。
- 物理的および環境的なセキュリティを重視した最先端のオペレーションセンターを備えています。
- DDoS攻撃に対する組み込み型の保護機能および既知の悪意のあるIPアドレスの自動ブロックで保護します。



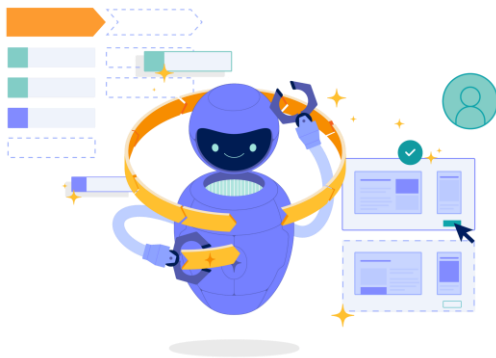
01

Pega Blueprintとは



変革を加速する 原動力

Pega Blueprintでは、AIを活用した企業向けワークフローを開発することができます。人とAIを結びつけ、自動化の促進と変革の高速化に重点を置いています。



Dashboard Pega + Blueprint™

RETAIL BANKING • BP-2224548 • ☆

Complaints Management

Define workflow details for: [Complaint Management](#) Edit Case Type Settings

Case Lifecycle Case Data Model Business Rules Reports

Orchestrates the end-to-end lifecycle of complaints from intake to resolution and closure, governing assignment, investigation, escalation, regulatory submission, systemic issue detection, and learning capture for continuous improvement.

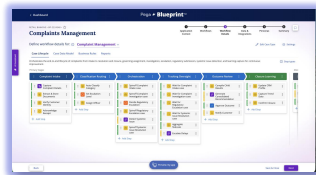
Primary Stages

Complaint Intake	Classification Routing	Orchestration	Tracking Oversight	Outcome Review	Closure Learning
- Capture Complaint Details - Extract & Store Documents - Verify Customer Identity - Acknowledge Receipt	- Auto-Classify Category - Set Escalation Level - Assign Officer	- Spinoff Complaint Intake case - Spinoff Complaint Investigation case - Decide Regulatory Escalation - Spinoff Regulatory Escalation case - Detect Systemic Issue - Spinoff Systemic Issue Resolution case	- Wait for Complaint Intake case - Wait for Complaint Investigation case - Wait for Regulatory Escalation case - Wait for Systemic Issue Resolution case - Aggregate Statuses - Escalate Delays	- Compile Child Results - Generate Consolidated Recommendation - Approve Outcome - Notify Customer	- Update CRM Profile - Capture Trend Data - Confirm Closure

Back Preview my app Save & Close Next

Blueprintが担うSDLCの領域

AIトランスフォーメーションを加速



Pega Blueprint™

業務部門とIT部門が連携し、エージェント型ワークフローを設計。エージェント時代に向けて、業務の進め方を再構築します。



Pega Infinity™
Pega Infinity Studio™

統合や自動化をはじめとする高度な設定を行い、AI支援開発によってBlueprintを完成度の高いアプリケーションへと具現化します。



Pega Infinity™
Pega Deployment Manager

自動化されたDevOpsパイプラインにより、本番環境への移行プロセスを調整(テスト、承認、セキュリティスキャンなどを含む)。



Pega Infinity™
OOTBポータルまたはDX API

エンドユーザーがワークフローにアクセスする際の安全な体験を確保(ルールベースとアクセスベースのコントロールにより制限)。



Pega Infinity™
Pega Process Mining

ワークフローを分析して、プロセスのギャップと非効率性を検出。

再構築

構築

テストとデプロイ

運用

最適化

PIIなし*

PIIなし*

PIIなし*

潜在的な秘密性

潜在的な秘密性

Pega Cloud®による安全な運用

プライベートクライアントの導入

プライベートクライアントの導入

プライベートクライアントの導入

Pega Cloud®による安全な運用

02

Blueprintアーキテクチャ



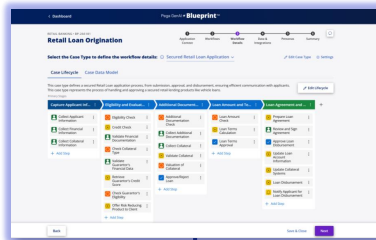
Pega Blueprint™ アーキテクチャ

Blueprintは、AWS基盤のPega Cloud®上で安全に実行され、主要なクラウド標準に従って管理および運用されます。

アーキテクチャの概要:

- Blueprintの認証は、企業のシングルサインオンプロトコル (SSO)と連携します。
- Pegaは、Pega Cloud製品に特化した、地理的にセグメント化されたデータ保存サービスを提供しています。Blueprintの地域は、企業の所在地(米国、英国、欧州連合、オーストラリア、シンガポール、または日本内)に基づきます。
- Blueprintの処理は、Pega Cloud Serviceの運用基盤を十分に活用した安全で信頼性の高いPega Infinityアプリケーション上で実行され、エンタープライズレベルの信頼性、コンプライアンス、セキュリティ、障害復旧を実現しています。
- Blueprintは、ユースケースとパフォーマンスに基づいてLLMを活用します。主にAWS Bedrock上で動作するClaudeモデルを使用しています。
- BlueprintのデータはAIの学習に使用されません。
- Blueprintのデータは、TLSを使用して転送中に暗号化されます。
- Blueprintのデータは安全に保存され、保存時に暗号化されます。

Pega.com フロントエンドWebアプリ



企業の
SSO

従業員

{user}@{your-org}.com



US – EU – AUS – UK – JP – SG



Blueprintアプリケーション

ユーザーリクエストのコア処理とBlueprintの機能
Pega Infinity™上に構築



業界知識サービス

ユーザーのリクエストに基づいて、ワークフローとデータモデルのベストプラクティスに関する情報をBlueprintに提供するRAG(検索拡張生成)サービスです。

Pega Knowledge Buddy™上に構築され、Pegaの業界固有の知的財産が含まれています。クライアントやユーザーのデータは保存されません。



Pega Cloud AIオーケストレーションサービス

LLMへの通話をオーケストレーション

AWS上に構築され、プロンプト、クライアントデータ、またはユーザーデータを保存しません。



AWS Bedrock
主なLLMプロバイダー
Claude, Haiku, Sonnet



Google Gemini
Flash



Azure OpenAI
GPT

ユースケース/パフォーマンスに基づいてさまざまなLLMを活用しています。すべて同じ地域内で処理され、ユーザーや企業のデータを利用してAIの学習を行うことはありません。



安全なデータストレージ

企業向け保存データ暗号化(DARE)

すべてのクライアントデータはポリコムに格納され、データベースは256ビットで保護されます。デフォルトでは、暗号化キーは定期的にローテーションされ、FIPS 140-2に準拠した安全なKMSに安全に保存されます。

ご要望に応じて、企業専用プライベート暗号化キーをご利用いただけます。



プライベートファイルストレージ

Pega Cloudレポジトリに接続

Blueprintのアクティビティに関連するすべてのファイル(例:アップロードされたドキュメントやデータは、企業専用のPega Cloudファイルストレージフォルダーに保存されます。デフォルトでは、この管理は企業に代わってBlueprintが行います。Pega CloudファイルストレージはBlueprint関連ファイルは、デフォルトでPega Cloudインスタンスに関連付けられた既存のプライベートPega Cloudファイルストレージポジトリに保存されます。

Pega Blueprint™地域データ保存場所(EU、英国、米国)

企業の所在地:

EU

- ストレージおよびコンピューティング: AWS EU-Central(フランクフルト)
- [AIモデルの実行](#)

企業の所在地:

英国

- ストレージおよびコンピューティング: AWS EU-West(ロンドン)
- [AIモデルの実行](#)

企業の所在地:

全世界

- ストレージおよびコンピューティング: AWS US-East
- [AIモデルの実行](#)

プロバイダー	モデル/プロバイダー	LLMの地域
 AWS Bedrock 主なプロバイダー	Anthropic	AWS Bedrock: EU
 Google Cloud	Gemini	Google Vertex: EU
 Microsoft Azure	OpenAI GPT	Microsoft Azure: EU

プロバイダー	モデル/プロバイダー	LLMの地域
 AWS Bedrock 主なプロバイダー	Anthropic	AWS Bedrock: EU
 Google Cloud	Gemini	Google Vertex: EU
 Microsoft Azure	OpenAI GPT	Microsoft: EU

プロバイダー	モデル/プロバイダー	LLMの地域
 AWS Bedrock 主なプロバイダー	Anthropic	AWS Bedrock: 米国
 Google Cloud	Gemini	Google Vertex: 米国
 Microsoft Azure	OpenAI GPT	Microsoft Azure: 米国

Pegaパートナー向け

Blueprintの機能説明ページの組織名フィールドで、Blueprintを作成する対象となる企業を定義すると、作成されたBlueprintは、その企業のために地域内で自動的に保存および管理されます。

Blueprintをどの地域に保存するか定義

EU、オーストラリア、英国、日本、またはシンガポール内で保存および管理されている場合は、地域の識別子を持つBlueprint IDを確認してください。

Pega Blueprint™地域データ保存場所(APAC)

企業の所在地:

オーストラリア

- ストレージ & コンピューティング: AWS: オーストラリア - シドニー
- [AIモデルの実行](#)

企業の所在地:

日本

- ストレージ & コンピューティング: AWS: 日本 - 大阪
- [AIモデルの実行](#)

企業の所在地:

シンガポール

- ストレージ & コンピューティング: AWS: シンガポール
- [AIモデルの実行](#)

プロバイダー	モデル/プロバイダー	LLMの地域
 AWS Bedrock 主なプロバイダー	Anthropic	AWS Bedrock: オーストラリア
 Google Cloud	Gemini	Google Vertex: オーストラリア
 Microsoft Azure	OpenAI GPT	Microsoft Azure: オーストラリア

プロバイダー	モデル/プロバイダー	LLMの地域
 AWS Bedrock 主なプロバイダー	Anthropic	AWS Bedrock: 日本 / APAC
 Google Cloud	Gemini	Google Vertex: 日本
 Microsoft Azure	OpenAI GPT	Microsoft Azure: 日本 / EU

プロバイダー	モデル/プロバイダー	LLMの地域
 AWS Bedrock 主なプロバイダー	Anthropic	AWS Bedrock: APAC
 Google Cloud	Gemini	Google Vertex: シンガポール
 Microsoft Azure	OpenAI GPT	Microsoft Azure: EU

Pegaパートナー向け

Blueprintの機能説明ページの組織名フィールドで、Blueprintを作成する対象となる企業を定義すると、作成されたBlueprintは、その企業のために地域内で自動的に保存および管理されます。

Blueprintをどの地域に保存するか定義

EU、オーストラリア、英国、日本、またはシンガポール内で保存および管理されている場合は、地域の識別子を持つBlueprint IDを確認してください。

03

アクセスと認証



Pega Blueprint™ アクセスと認証

シングルサインオン(SSO)でBlueprintへのアクセスを設定します。

組織のIDPIに対するユーザー認証を有効にすると、Blueprint、My Support PortalなどのすべてのPegaサイトとアプリケーションへのアクセスを、認証ユーザーに限定できます。

フェデレーション認証が有効になっている場合、ユーザーはログイン時にパスワードの入力を求められず、IDプロバイダーに対して認証を行うようリダイレクトされます。

クライアント組織のITリーダーは、当社の統合アカウントチームと協力して、フェデレーション認証を有効にすることができます。

必要な情報: SAML 2.0の設定詳細、またはOAuthの設定詳細

次のアプリケーションへのログインには、フェデレーション認証が使用されます。
Blueprint、Pega.com、community.Pega.com、academy.Pega.com、support.Pega.com、docs.Pega.com、partners.Pega.com、saleshub.Pega.com、partner-logo-generator.Pega.com、My Support Portal、My Pega Cloud、My Pega、PDC、Deployment Manager、Pega Trials

Blueprintは、積極的に共有しない限り、見ることができるのは作成者のみです。

デフォルトでは、Blueprintは、Blueprintを作成したユーザー(Blueprintの所有者)以外には表示されません。
**

Blueprintの所有者は、Blueprintを他のステークホルダー(チームメイト、パートナーなど)と共有できます。ユーザーは、編集者または閲覧者としてメールでユーザーを招待できます。

Share this Blueprint

Invite Collaborators

Only collaborators with a business email address will be able to access Pega GenAI Blueprint

Editor ▼

Send

ユーザーが企業を退職した場合、そのユーザーのBlueprintを持ち出すことはできません。

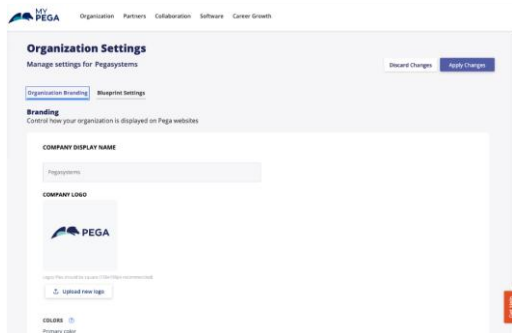
企業がPegaのデジタル資産(Blueprintなど)とSSOを連携している場合、そのSSOに有効なアクセス権を持つユーザーのみがBlueprintにログインできます。

ユーザーがPega.comのプロファイルに登録されているドメインを変更すると(例: 組織を変更する)、古いドメイン内に作成したBlueprintは表示されなくなります。

これらのBlueprintへのアクセスは、リクエストに応じて組織内の他のユーザーに対して復元できます。

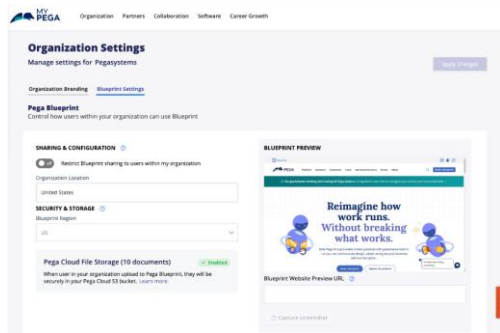
Pega Blueprint™

組織管理パネル



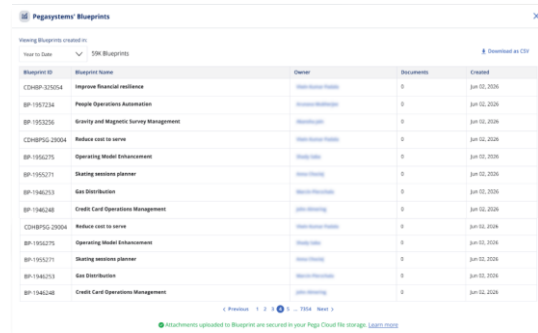
組織のブランディングを調整

企業の表示名、色、ロゴを完全にコントロールできます。Blueprintの管理者は、すべてのブランディングを行いながら、ブランディングを更新し、本番グレードのアプリケーションのデリバリーを加速するすべての機能を持っています。



ストレージと共有の管理

Blueprintの共有を組織内に限定できるため、安心してセキュリティ管理を行えます。既定の組織ロケーションを確認し、セキュリティとデータ保管のためのデータレジデンシー地域を指定します。



組織のBlueprintの可視化

組織全体のBlueprintのID、作成者、名称、ドキュメント、作成日を可視化します。

04

データプライバシー



Pega Blueprint™ データ処理

収集される情報とその処理方法

#	データポイント	フォーマット	LLMによる処理	AI学習への利用	保存先	表示対象
1	クリエイター情報	メタデータ(名前、メール、組織)	なし	なし	Pega Cloudデータストレージ 完全に暗号化*	Pega
2	アプリケーションの説明	メタデータ(業界、アプリ名)	Yes	なし	Pega Cloudデータストレージ 完全に暗号化*	Pega
3	テキストベースのアプリケーションの説明	暗号化されたテキスト	Yes	なし	Pega Cloudデータストレージ 完全に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**
4	レガシードキュメント	.PDF、.DOC、.DOCX、.md	Yes	なし	Pega Cloudファイルストレージ 保存時に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**
5	レガシービデオと画像	.MOV、.MP4、.JPG、.PNG、 jpeg、avi	Yes	なし	Pega Cloudファイルストレージ 保存時に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**
6	プロセス図	.BPMN、.jpm、.jpeg	Yes	なし	Pega Cloudファイルストレージ 保存時に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**
7	統合とデータドキュメント	.YAML、.SQL、.DDL、.CRD	Yes	なし	Pega Cloudファイルストレージ 保存時に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**
8	コード分析ドキュメント	AWS Transform, Google MAT, NotestoBlueprint、.Blue print	あり	なし	Pega Cloudファイルストレージ 保存時に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**
9	Blueprintの編集と最終デザイン	暗号化されたメタデータ(暗号 化されたBlueprintファイル としてエクスポート)	なし	なし	Pega Cloudデータストレージ 完全に暗号化*	Blueprintの作成者と招待者のみ**

05

クラウドセキュリティ





Pega Blueprint™ クラウドセキュリティ

詳細については、Pega Cloudトラストセンターをご覧ください

Pega Blueprintは、Pegaの実証済みのPega Cloud®サービス上で実行され、エンタープライズグレードのセキュリティを確保します。

信頼できる変革

- 24時間年中無休の運用監視、管理、サポート
- 厳格なアクセス制御と運用上の安全対策により、自動化を通じて人手による作業を最小限に低減。設計段階からセキュリティを考慮したアーキテクチャ運用
- エンタープライズグレードのコンプライアンス、稼働率、障害復旧、脅威モデリング

オペレーション

24時間365日のモニタリング、環境サポート、先回りの対応
[詳細](#)

アクセス

自動化された運用管理と厳格なアクセスプロトコルで管理された環境
[詳細](#)

コンプライアンス

20以上の業界標準に厳密に準拠
[詳細](#)

障害からの復旧

包括的なデータとサービスのバックアップ、フェイルオーバー、復旧
[詳細](#)

脅威モデリング

OWASP Top 10に基づくレッドチーム手法を適用
[詳細](#)

提供状況

アーキテクチャは、組み込みの高可用性と障害復旧を活用して、ほぼ継続的な稼働を実現
[詳細](#)

The screenshot displays the Pega Trust Center website. At the top, there's a navigation bar with links like Home, Platform, Solutions, Customers, Learn, Services & Partners, Events, and About. Below this is a banner for the Pega Trust Center with the text: "Secure. Reliable. Compliant. Pega Cloud empowers the world's biggest brands to meet - and exceed - the challenges of today and tomorrow. Learn how." A link to "Learn more about Pega's security features" is provided. The main content area is titled "Security" and includes sections for "Security policies", "Authorization & access", "Network protection", "Secure system integration", "Client-based access control", and "Data encryption". Each section provides a brief overview of the security measures. Below these is a "Supporting security documents" section with a table of resources, last updated dates, and assessment scopes. The table lists documents like "Digital Security Policies", "Veracode Statements", "Penetration Test Summaries", "Business Continuity Plan Summary", and "Disaster Recovery Test Results". The bottom section is titled "Privacy" and includes a link to "Read Pega's privacy notice". Finally, there's a "Compliance certifications, attestations, and accessibility" section with a list of certifications like APRA, CS, CSA STAR, Cyber Essentials, Cyber Essentials Plus, CyberGIX, and Cybervalds.

Resources	Last updated (YYYY-MM-DD)	Assessment scope
Digital Security Policies	2024-12-27	Pega Cloud AWS, GCP
Veracode Statements	N/A	Pega Cloud AWS, GCP
Penetration Test Summaries	2024-09-17	Pega Cloud AWS, GCP
Business Continuity Plan Summary	2024-05-03	Pega Cloud AWS, GCP
Disaster Recovery Test Results	2024-12-09	Pega Cloud AWS, GCP

06

AIガバナンス



Pega Blueprint™により 各種の最先端モデルを組み合わせ スピーディな変革を支援 AIトランスフォーメーションを加速

モデルはすべて安全に管理され、製品に組み込まれ、有効性とパフォーマンスのバランスが保たれています。



2025年第3四半期現在
Pegaでは、適切なタスクに適切なモデルを使用できるようにLLMを継続的に評価しています。現在内部で活用されているのは、次のモデルです。

ハイパースケーラー	LLMプロバイダー	Bluepri ntの地域	LLMの地域
 AWS 主なプロバイダー	Anthropic Claude Sonnet 4.5	AMS(米国)	AWS Bedrock: 米国
		EU	AWS Bedrock: EU
		英国	AWS Bedrock: 英国
 Google Cloud	Google Gemini	AMS(米国)	Google Vertex:米国
		EU	Google Vertex:EU
		英国	Google Vertex:英国
 Microsoft Azure	OpenAI - GPT	AMS(米国)	Microsoft Azure:米国
		EU	Microsoft Azure:EU
		英国	Microsoft Azure:英国

ハイパースケーラーとのすべての契約には、ハイパースケーラーやLLMプロバイダーのいずれも、Pegaやクライアントから送信されたプロンプトやデータにアクセスしないという誓約が含まれています。

*2025年6月現在

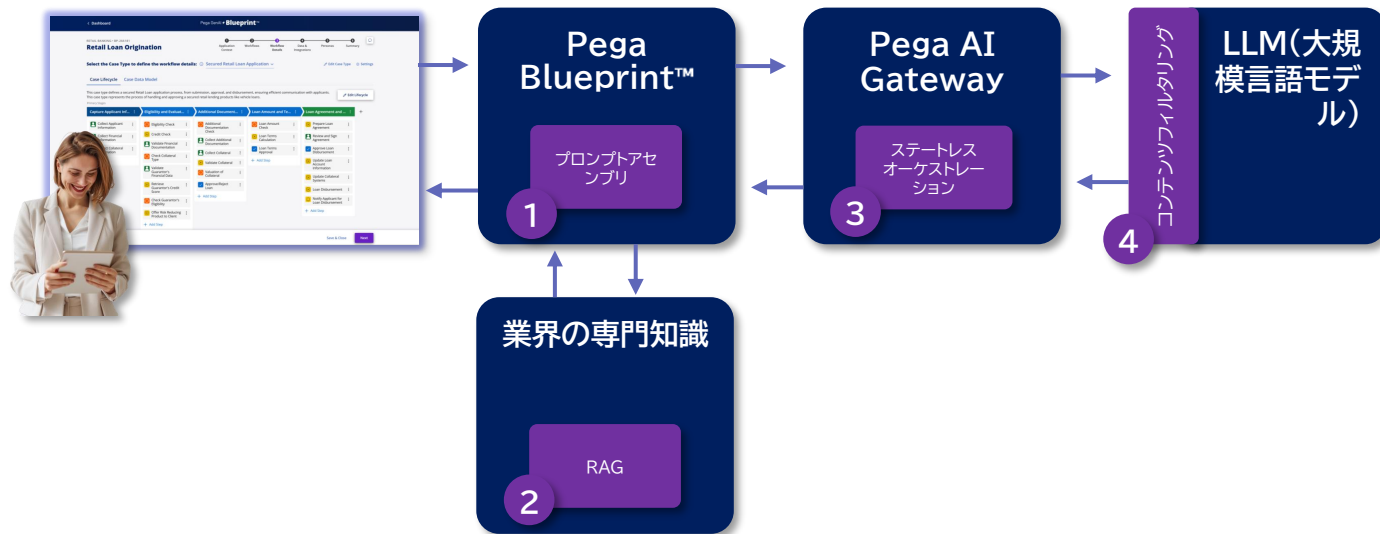
**pega.comに常に最新情報を掲載

Data Flow

Pega Blueprint™

保護された安全なAI処理:

1. Pega Blueprintは、ユーザーが入力した情報に基づいて、アプリケーションを説明するプロンプトを作成します。
2. Pega Blueprintは、Pega Knowledge Buddyで実行されるPegaの業界専門知識ナレッジベースを呼び出し、Blueprintのユースケースに基づいて業界のベストプラクティスを統合し、LLMプロンプトとBlueprintの作成を強化します。
3. LLMの呼び出しは、すべてPega Cloud上の**Pega AI Gateway Service**を経由して実行されます。このサービスは、大規模言語プロバイダーとの通信において、信頼性の高いセキュリティ、セグメンテーション、スケーラビリティのレイヤーを提供します。
4. 暗号化されたプロンプトを安全なLLMに送信する場合、**コンテンツフィルタリング**が適用され、プロンプトや完了画面に含まれる有害なコンテンツを検出して防止します。



コンテンツフィルタリングのアプローチ

Pegaは、生成AIを利用するPega機能の提供において、実績のある大規模言語モデルプロバイダーを利用しています。各モデルには、有害、非倫理的、害意のある応答が発生する可能性を軽減する堅牢なコンテンツフィルタリング機能が用意されています。機能は堅牢ですが、これらは緩和策に過ぎず、回避される可能性は依然として残ります。さらに、責任ある倫理的なAIで同じ成果を達成するアプローチは、モデルプロバイダーによって異なります。

つまり、分類モデル、しきい値、検出のカテゴリは異なる可能性があるということを意味します。別のモデルを使用すると、別のコンテンツ分類とフィルタリングが適用されます。クライアントがPega GenAI Connectを使用する際には、こうした潜在的な差異を認識し、テストを実行して検証する必要があります。

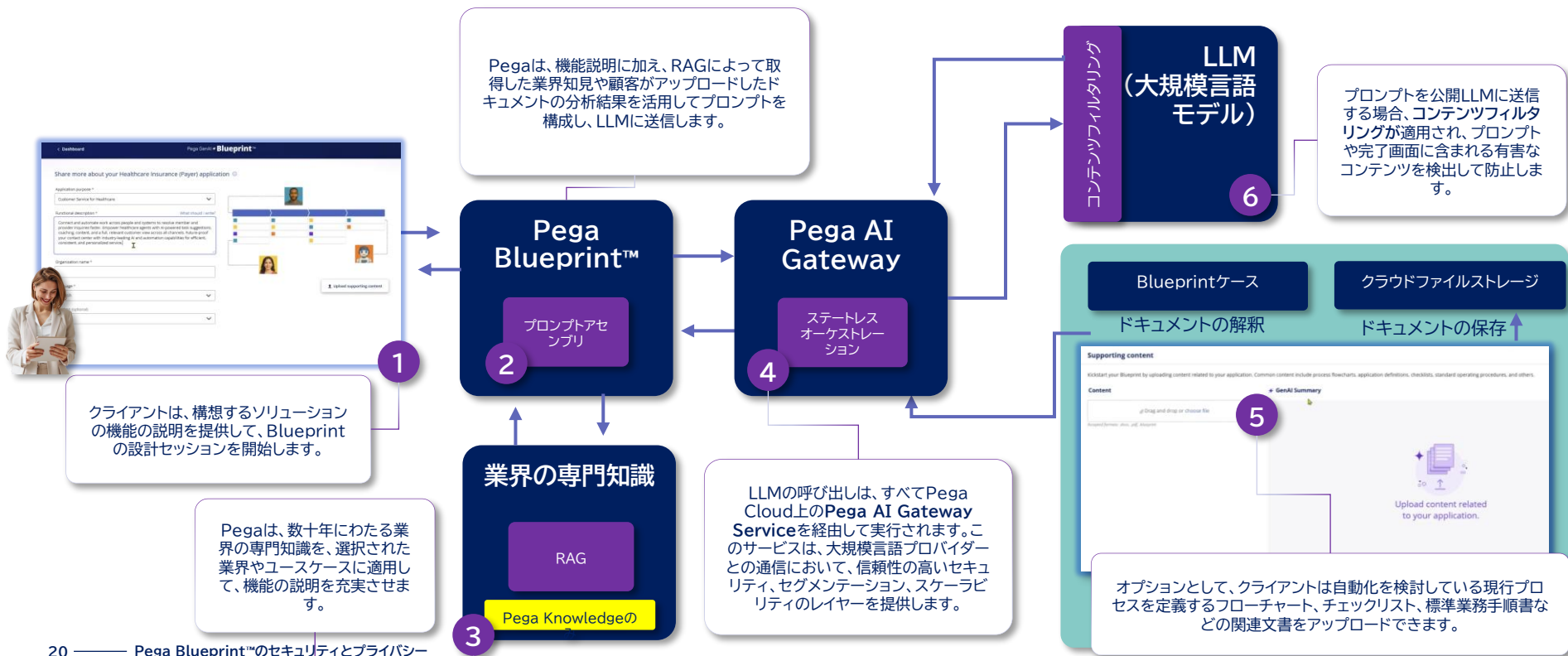
Data Flow

Pega Blueprint™

コンテンツフィルタリングのアプローチ

Pegaは、生成AI機能の提供にあたり、業界をリードする大規模言語モデル(LLM)プロバイダーを採用しています。各モデルには、有害、非倫理的、害意のある応答が発生する可能性を軽減する堅牢なコンテンツフィルタリング機能が用意されています。機能は堅牢ですが、これらは緩和策に過ぎず、回避される可能性は依然として残ります。さらに、責任ある倫理的なAIで同じ成果を達成するアプローチは、モデルプロバイダーによって異なります。

つまり、分類モデル、しきい値、検出のカテゴリは異なる可能性があるということを示します。別のモデルを使用すると、別のコンテンツ分類とフィルタリングが適用されます。クライアントがPega GenAI Connectを使用する際には、こうした潜在的な差異を認識し、テストを実行して検証する必要があります。



Data Flow

Pega Blueprint™



PegaにおけるAIガバナンス

エンドツーエンドの監視

PegaのAIガバナンス委員会は、クラウドセキュリティチームによって運営され、Pega製品全体のAI活用を監督しています。

製品、クラウドセキュリティ、クラウド運用、IT、法務、市場開拓の各分野のエキスパートと企業経営者が参加しており、PegaにおけるAIのあらゆる利用の安全性、責任、セキュリティを維持しています。

戦略的パートナーシップ

Pegaは、企業クライアント固有のニーズを満たすために、AWS、Google Cloud、Microsoftと戦略的関係および包括的な契約を締結し、共同でAIイニシアティブを推進しています。

PegaとLLMサービスのクラウドプロバイダーは定期的に会合を行い、モデルオプション、パフォーマンス、セキュリティ、諸問題を確認しています。

セキュリティ第一

PegaのAIガバナンス委員会は、Pega Blueprintを含むすべてのAI活用型機能の継続的なセキュリティ評価を組織および実行します。

セキュリティ評価には、以下が含まれます。

1. ISO 42001
2. Microsoft AI Red Team手法
3. OpenAIの安全性に関するベストプラクティス
4. Microsoftが指定する緩和策
5. LLMアプリケーション向けOWASP Top 10
6. クラウドネイティブアプリケーションセキュリティのOWASP Top 10





Pegaは、エンタープライズ向けAIの意思決定とワークフローの自動化により、企業・組織のBuild for Change®を支援する、真のエンタープライズDXカンパニーです。世界で最も影響力のある企業の多くが、エンゲージメントのパーソナライズからサービスの自動化、オペレーションの簡素化まで、最も差し迫ったビジネス課題を解決するために当社のプラットフォームを活用しています。1983年の創業以来、Pegaの拡張性と柔軟性に優れたアーキテクチャにより、企業が今日の顧客ニーズに応えながら、将来に備えて継続的に変革できるように支援し続けています。Pegasystems (NASDAQ:PEGA) の詳細については、<http://www.pega.com/ja>をご覧ください。